

星野リゾート・リート投資法人との「ブルーローン」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、星野リゾート・リート投資法人（代表取締役社長：秋本 憲二、以下「星野リゾート・リート」）との間でブルーローン（以下「本ローン」）の融資契約を4月22日に締結する予定です。

ブルーローンとは、海洋環境や資源を保全しながら持続可能な経済活動を行う「サステナブル・ブルーエコノミー」の実現に必要な資金を調達することを目的としたローンです。本ローンは、2021年に開始した「星のや竹富島」における海水淡水化による飲料水自給プロジェクトを対象とし、グリーンローン原則（※1）及びブルーファイナンスのガイドライン（※2）への適合性について、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（以下「R&I」）よりセカンドオピニオン（※3）を取得しています。

星野リゾート・リートは、星野リゾートグループとともに、観光産業を通して、気候変動への対応はもとより、社会への貢献を具体的に実行することにより、持続可能な経済と社会の実現を目指しています。

また、星野リゾート・リートに関係する宿泊事業のバリューチェーンにおける全てのステークホルダーは、環境保全や社会貢献に対して協力・連携しつつ、本投資法人が掲げるESG戦略「CSV考慮の運用」を中長期的に達成することを目指しており、あらゆる人々が活躍する平等な社会の実現、健康で快適な職場環境の整備及び地域活性化への貢献といった目標を策定し、日々の業務に邁進しています。

みずほ銀行は、こうした星野リゾート・リートの持続可能な経済と社会の実現への取り組みに賛同し、金融機関として本取り組みを支援していきます。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

<資金使途（ブループロジェクト）の概要>



星野リゾート・リートは、本件により調達した資金の全額を「星のや竹富島」において2021年2月に導入した「海水淡水化熱源給湯ヒートポンプユニット（※4）」の設備投資に充当した手元資金のリファイナンスに充当します。

「星のや竹富島」では、当該設備により汲み上げた海水の淡水化による飲料水の自給を行っています。竹富島は石垣島からの海底送水で生活用水を賄っており、水質源に限りがある中、飲料水用を海水淡水化装置によって自給することで、客室でのペットボトル入りミネラルウォーターの提供を廃止し、ペットボトルフリーに取り組んでいます。

また、ヒートポンプの電源として太陽光発電設備と蓄電池が一体化しており、淡水化の過程で生じるエネルギーを水の温度調整や空調などに利用することでGHGの削減も可能となります。さらに、災害時でも水、湯及び電力の自給が可能となることから、2021年2月、民間企業としては初めて竹富町の避難所に指定されています。

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

(※1) グリーンローン原則：

Loan Market Association と Asia Pacific Loan Market Association が 2018 年 3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。2018 年 12 月には The Loan Syndications and Trading Association も参画。

(※2) ブルーファイナンスのガイドライン：

International Finance Corporation が策定した Guidelines for Blue Finance。

(※3) R&I によるセカンドオピニオン：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

(※4) 海水淡水化熱源給湯ヒートポンプユニット：

ゼネラルヒートポンプ工業株式会社」と「株式会社エナジア®」が施設への導入に合わせて開発した製品。

以 上